

2025年シーズン 九州アジアリーグ 公式戦ルール

【延長戦】

- (1) 試合は 9 回までとする。
- (2) 9 回裏終了後に同点の場合は、10 回のみタイブレーク戦を行う。
タイブレークは無死 1.2 塁の状態で行い、攻撃する打順を選択できることとし、両チームの監督は 10 回表が始まる前に選択する打順を球審に申告しなければならない。走者は打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打順の者が二塁走者となり、この場合の代打・代走は認められる。
- (3) 球場規定により延長戦を開催できない場合、9 回裏終了時点で同点の場合は引き分けとする。
- (4) 福岡ソフトバンクホークスとの試合においては、9 回打ち切りとする。

【コールドゲーム】

- (1) 7 回 10 点差以上の点差が開き、かつ当該イニングの表裏が成立した場合、その時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (2) 7 回表終了時点で 10 点差以上の点差が開き、かつ後攻のチームがリードしている場合、裏の攻撃は行わずその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (3) 7 回で後攻のチームが攻撃中に 10 点差以上の点差をつけた場合は、第 3 アウトが成立していなくてもその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
- (4) ダブルヘッダーの際には別途定めたルールを適用する。
- (5) 本ルールは、九州アジアリーグ加盟球団同士・準加盟球団との試合にのみ適用する。

【ダブルヘッダー】

- (1) ダブルヘッダーの試合においては 7 回までとする。また、5 回終了をもって試合成立とする。
- (2) 7 回終了時に同点の場合はダブルヘッダーにおいてもタイブレークを行う。ただし 7 回終了時点で 2 時間 30 分を超えていた場合はタイブレークを行わず引き分けとする。
- (3) 2 試合目の開始時間は第 1 試合終了 45 分後目安にする。
- (4) ダブルヘッダーの試合におけるコールドゲームについては以下のように定める。
 - ① 5 回 10 点差以上の点差が開き、かつ当該イニングの表裏が成立した場合、その時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
 - ② 5 回表終了時点で 10 点差以上の点差が開き、かつ後攻のチームがリードしている場合、裏の攻撃は行わずその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
 - ③ 5 回で後攻のチームが攻撃中に 10 点差以上の点差をつけた場合は、第 3 アウトが成立していなくてもその時点の得点差で勝敗を決め、試合を終了する。
 - ④ 5 回を終了して試合が成立した後、日没によりゲームの続行が困難と判断される場合は、責任審判員の判断によって日没コールドとする場合がある。
- (5) 予告先発投手は試合前日に 2 試合分発表する。
- (6) 勝利投手の権利等の記録のルールは通常と同様とする。

【ノーゲーム】

- (1) 試合は 5 回終了をもって成立する。5 回表終了時点でホーム球団がリードしている場合は、試合が成立したものとみなす。
- (2) 試合成立前に雨天等によって試合が中断された場合、ゲーム続行の可否は責任審判員が判断する。
- (3) そのままゲーム続行が困難となった場合は、ノーゲームとして改めて再試合を行う。

【指名打者】

指名打者制(DH 制)を採用する。

【予告先発】

- (1) 予告先発は九州アジアリーグ加盟球団同士および準加盟球団との試合のみ採用する。発表は試合前日の午後 3 時とする。
- (2) 発表後は原則として変更できない。ただし、発表日の試合が雨天中止またはノーゲームとなった場合はこの限りではない。
- (3) 止むを得ない理由で発表後に変更された投手は、その日を含む 3 試合に出場することはできない。

【ピッチクロックルール】

- (1) 投手は走者なしの場合は 12 秒、走者ありの場合は 20 秒以内に投球動作を起こさなければならない。違反した場合は走者なしの際はボールを宣告し、走者ありの際、1 度目は警告、2 度目はボールを宣告する。走者ありの際に牽制球、投手板から軸足だけを外す行為、偽投などの行為は 1 打者につき 3 回まで計測はリセットされるが、4 度目は走者をアウトにするか、挟殺プレーにしない限り投手にボークを科す。
- (2) 台湾チーム交流戦については実施しない。

【バッタースボックスルール】

- (1) 打者は投球を見逃したボールに対して両足をボックスから外すことは認めない、必ずどちらかの足をボックスに入れて置かなければならない。
上記の行為に違反した場合は、球審は1回目警告、2回目以降はストライクを宣告する。
- (2) 台湾チーム交流戦については実施しない。

【選手契約・出場選手】

- (1) 各球団が契約できる選手は上限を定めない、球団の裁量とする。
- (2) 公式戦の出場選手登録ができる選手は 30 名を上限とする。
- (3) 公式戦において同時に出場できる元プロ野球選手と外国籍選手数の定めはないものとする。

【優勝決定方法】

2025 年シーズンは、佐賀アジアドリームズ、福岡ソフトバンクホークス戦、台湾チーム交流戦を含む勝率により優勝を決定する。

1 チームあたり公式戦 65 試合(ホーム 35 試合・ビジター 30 試合)を行う。

(佐賀アジアドリームズ、福岡ソフトバンクホークス、台湾チーム交流戦のチーム成績は対象外とする。)

		ホーム							合計
		火の国	大分	北九州下関	宮崎	佐賀	ホークス	台湾	
ビ ジ タ ー	火の国		9	9	9	3	—	—	30
	大分	9		9	9	3	—	—	30
	北九州下関	9	9		9	3	—	—	30
	宮崎	9	9	9		3	—	—	30
	佐賀	3	3	3	3		—	—	12
	ホークス	4	4	4	4	—		—	16
	台湾	1	1	1	1	—	—		4
合計		35	35	35	35	12	0	0	152

■勝率が同率の場合には、下記の順に優位な球団を優勝とする。

(1)当該カードの当季の対戦成績 (2)当季の得失点差 (3)当季の総得点数

【規定打席・規定投球回】

(1)規定打席は、所属球団の試合数×2.7 打席とする。

(2)規定投球回は、所属球団の試合数×0.8 回とする。

(佐賀アジアドリームズ、福岡ソフトバンクホークス、台湾チームの個人成績は対象外とする。)

【表彰タイトル】

最優秀選手賞

ベストナイン

最優秀審判員賞

～投手部門～

最優秀防御率投手賞

最多勝利投手賞

最多三振奪取投手賞

最優秀中継ぎ投手賞

最多セーブ投手賞

～打者部門～

首位打者賞

最多安打者賞

最多本塁打者賞

最多打点者賞

最多盗塁者賞